

令和元年主催事業「第1回環ボラプロジェクトin英彦山」

○開催日：令和元年6月16日（日） ○開催場所：英彦山青年の家 ○参加者数：40名

○事業のねらい

実践的な自然体験活動をととして、環境保全活動に高い意識をもち、主体性を持って多様な人と協働して学び、環境ボランティア活動に意欲的に参加する人材の育成を図る。

講義「英彦山のかげがえのない自然を守るために」

福岡県環境部自然環境課の方に講師をしていただき、英彦山における害獣の被害の実態や福岡県の害獣駆除の取り組みについての話を聞きました。

多くの参加者にとっては『かわいい動物』という認識くらいしか知らない鹿が、爆発的に増え、身近な自然を破壊しているという実情を知ることで、自然環境について考えるいいきっかけになりました。



講義「ニホンジカの生態と被害の概要」

福岡県農林業総合試験場の方からニホンジカの生態や被害について、多くの資料をもとに話を聞きました。

鹿の詳しい生態や、鹿が増えてしまった原因や捕獲事業により数を減らしていく取り組みが行われているのかなど、普段知ることのできないことを分かりやすく説明していただきました。



活動「鹿を探してみよう」

九州自然環境研究所の方に講師をしていただき、シカの痕跡探しのゲームをしたり、実際に罠にかかったシカの止め刺しの作業を見学したりしました。

森の中でアドバイスを聞きながら自分たちで様々なシカの痕跡を見つけ出すことで、普段は気づかない動物の生態を見ることができたようです。

加えて、命を扱う現場に立ち会うことで、命とは何かを一人一人が考える時間になりました。



実食「鹿肉を使った色々な料理」

添田町地域おこし協力隊の方に料理を作っていただき、「鹿肉のつみれ汁や鹿肉のロースト」などの実食を行いました。

最初はおっかなびっくりという感じで食べていた参加者も、とてもおいしかったようで、おかわりの行列ができていました。

「命をいただく」とよく言いますが、日常生活ではあまり感じられないその言葉を深く考える機会になりました。



○参加者の感想

- ・鹿が自然環境に与える影響や、国・各団体の取組を知ることで、環境問題に興味をもつことができました。
- ・あまり食べる機会のない鹿肉を食べてみて、また機会があれば食べたいと思うくらい美味しかったです。
- ・高校生・大学生・社会人の方などさまざまな年齢の人と関わることができてよかったです。

○全体を通して

第1回目では、害獣駆除という観点から環境保全の取り組みの話を聞いたりと、実際に体験したりすることで学びを深めることができました。第2回目では、山に入り、自然の動植物についての知識をえるとともに、間伐等に取り組むことで、実際に環境保全の取組に参加するような活動を行っていきます。

